



## 第90期 中間事業報告書

平成30年4月1日 ~ 平成30年9月30日

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには  
日頃より格別のご高配を賜り、  
ありがたく厚く御礼申し上げます。  
さて、第90期第2四半期連結累計期間  
(平成30年4月1日～平成30年9月30日)  
における事業の概要について  
ご報告申し上げます。



代表取締役  
会長執行役員

北野 晶平



代表取締役  
社長執行役員

藤澤 一郎

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の緩やかな回復に伴い、国内の輸出や生産が堅調に推移したことで、企業収益は過去最高水準となりました。

今後も、好調な企業業績を背景に成長分野への対応、維持更新、合理化および省力化を中心とした設備投資が継続するものと見込まれます。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高796億50百万円、完成工事高696億77百万円、経常利益39億39百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益26億45百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますとおり、1株当たり28円00銭とさせていただきます。

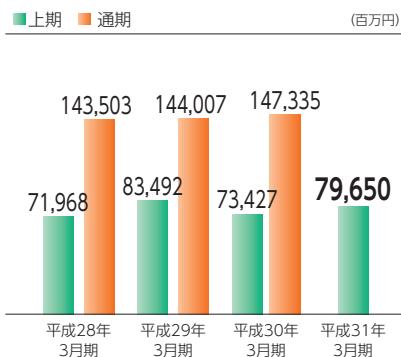
当社の115年のあゆみは、常にお客さまをはじめ、株主・投資家の皆さま、協力会社、地域社会、従業員といったさまざまなステークホルダーの皆さまとともにありました。

これからも皆さまのご期待に応えるため、「環境(Environment)」「社会(Social)」「ガバナンス(Governance)」に対して積極的に対応し、さらなる成長により企業価値を高めてまいります。

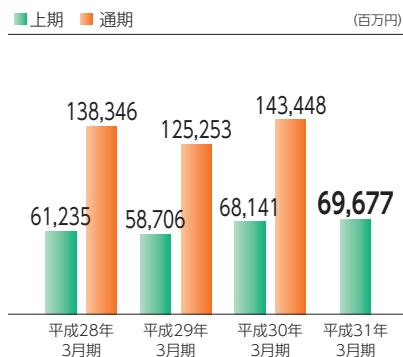
今後ともダイダンの企業活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 連結財務ハイライト

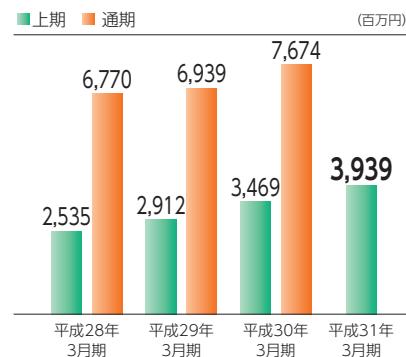
### 受注工事高



### 完成工事高



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 総資産・純資産・自己資本比率



### 1株当たり純資産



(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成28年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成30年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成30年9月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	27,885	29,752
受取手形・完成工事未収入金	52,638	52,245
電子記録債権	11,319	9,527
未成工事支出金	500	1,261
材料貯蔵品	0	—
その他	3,422	2,754
貸倒引当金	△ 7	△ 7
<b>流動資産合計</b>	<b>95,759</b>	<b>95,533</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	4,704	4,660
無形固定資産	557	512
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,602	19,034
退職給付に係る資産	8,944	9,257
その他	1,629	1,491
貸倒引当金	△ 191	△ 190
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>28,985</b>	<b>29,592</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>34,247</b>	<b>34,766</b>
<b>資産合計</b>	<b>130,006</b>	<b>130,299</b>

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成30年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成30年9月30日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	21,996	21,846
電子記録債務	19,862	18,591
短期借入金	4,026	4,068
未払法人税等	1,880	965
未成工事受入金	1,733	1,811
賞与引当金	—	2,268
役員賞与引当金	—	58
完成工事補償引当金	69	79
工事損失引当金	358	90
その他	9,961	7,530
<b>流動負債合計</b>	<b>59,889</b>	<b>57,311</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,299	1,333
繰延税金負債	2,774	3,375
退職給付に係る負債	1,323	1,328
海外投資損失引当金	6	6
長期未払金	296	296
その他	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>5,700</b>	<b>6,339</b>
<b>負債合計</b>	<b>65,589</b>	<b>63,651</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	47,307	49,217
自己株式	△ 688	△ 689
<b>株主資本合計</b>	<b>55,908</b>	<b>57,817</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	7,798	8,098
為替換算調整勘定	24	18
退職給付に係る調整累計額	514	559
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>8,337</b>	<b>8,677</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>171</b>	<b>154</b>
<b>純資産合計</b>	<b>64,417</b>	<b>66,648</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>130,006</b>	<b>130,299</b>

### POINT 四半期連結貸借対照表

流動資産は、前連結会計年度末比226百万円減(△0.2%)の95,533百万円となりました。主な要因は、電子記録債権の減少1,791百万円(△15.8%)及びその他流動資産の減少668百万円(△19.5%)によるものです。固定資産は、前連結会計年度末比519百万円増(1.5%)の34,766百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加431百万円(2.3%)及び退職給付に係る資産の増加312百万円(3.5%)によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末比2,577百万円減(△4.3%)の57,311百万

円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少1,270百万円(△6.4%)及びその他流動負債の減少2,431百万円(△24.4%)によるものです。固定負債は前連結会計年度末比639百万円増(11.2%)の6,339百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加600百万円(21.6%)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比2,231百万円増(3.5%)の66,648百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1,909百万円(4.0%)によるものです。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	(平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)
完成工事高	68,141	69,677
完成工事原価	59,491	60,536
完成工事総利益	8,650	9,140
販売費及び一般管理費	5,448	5,491
営業利益	3,201	3,649
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	160	195
受取保険料	93	107
為替差益	80	31
その他	18	27
営業外収益合計	356	367
営業外費用		
支払利息	77	61
支払保証料	4	3
その他	7	11
営業外費用合計	89	77
経常利益	3,469	3,939
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	3	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	3,474	3,939
法人税、住民税及び事業税	1,011	856
法人税等調整額	175	448
法人税等合計	1,186	1,305
四半期純利益	2,288	2,634
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 8	△ 11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,297	2,645

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	(平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,114	2,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 128	△ 38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 582	△ 660
現金及び現金同等物に 係る換算差額	14	△ 3
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,417	1,866
現金及び現金同等物の 期首残高	26,549	27,858
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,967	29,724

### POINT 四半期連結損益計算書

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比1,535百万円増(2.3%)の69,677百万円となりました。

完成工事総利益は、前年同四半期連結累計期間比490百万円増(5.7%)の9,140百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加により、前年同四半期連結累計期間比447百万円増(14.0%)の3,649百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加等により、前年同四半期連結累計期間比470百万円増(13.5%)の3,939百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純損失を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比347百万円増(15.1%)の2,645百万円となりました。

### POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は2,569百万円(前年同四半期連結累計期間は2,114百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少等の資金の増加要因が、仕入債務の減少等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は38百万円(前年同四半期連結累計期間は128百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出及びその他の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は660百万円(前年同四半期連結累計期間は582百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、配当金の支払額によるものです。

# 株式の状況／会社の概要

(平成30年9月30日現在)

Stock Information/Corporate Profile

## 発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 22,981,901株
- 株主数 3,408名

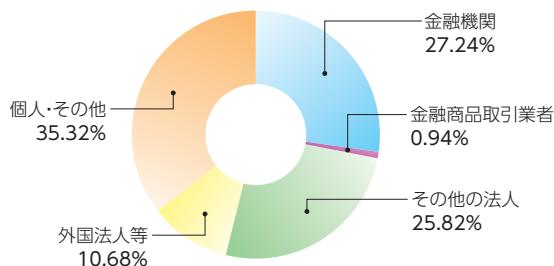
## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	1,079	4.84
株式会社三菱UFJ銀行	973	4.36
有楽橋ビル株式会社	913	4.09
大阪大元持株会	754	3.38
ダイダン従業員持株会	728	3.27
三信株式会社	559	2.50
名古屋大元持株会	527	2.36
株式会社みずほ銀行	479	2.15
株式会社三井住友銀行	477	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	460	2.06

(注)1.当社は、自己株式690,516株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は、自己株式690,516株を控除して計算しております。

## 所有者別分布



## 会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,610名

## 役員一覧 (平成30年12月1日現在)

代表取締役会長執行役員	北野晶	平郎
代表取締役社長執行役員	藤澤一	隆節
代表取締役副社長執行役員	太田谷	英之
取締役相談役特別執行役員	菅谷	亮
取締役専務執行役員	古池新田	隆和
取締役専務執行役員	力石井	保彦
取締役常務執行役員	亀田	宏
取締役執行役員	吉松	文
取締役執行役員	滝原	政
取締役執行役員	大河嶋	秀
取締役執行役員	河西野内	浩
取締役執行役員	吉田	一
取締役執行役員	荻野	憲
取締役執行役員	立石	知
取締役執行役員	清高	登
取締役執行役員	比水	功
取締役執行役員	坪田	満
取締役執行役員	北村	具
取締役執行役員	道端	広
取締役執行役員	山笹	順
取締役執行役員	大木	康
取締役執行役員	三橋	寿
取締役執行役員	田好	重
取締役執行役員	田中	繁
取締役執行役員	佐々木	克
取締役執行役員	々々	洋
取締役執行役員	平岸	二
取締役執行役員	坂本	工
取締役執行役員	芝田	博
取締役執行役員	檀原	暢
取締役執行役員	畑中	泰
取締役執行役員	餃島	稔
取締役執行役員	岡本	利
取締役執行役員	中村	美
取締役執行役員	清水	明
取締役執行役員	麻生	昇
取締役執行役員		真
取締役執行役員		仁
取締役執行役員		博

(注)1.取締役のうち吉田宏、松原文雄の両氏は、社外取締役であります。

2.監査役のうち滝谷政春、河野浩二の両氏は、社外監査役であります。

# ダイダンの事業活動

光と空気と水。そのすべてをトータルにコントロールする統合技術。  
優れた技術が響きあい、ひとつに溶けあうことで、より快適な、新しい環境が生まれます。

## 光 Light

ステージを映し出すきらびやかな照明。建物を夜の街に美しく映し出すライト。  
光によって映し出される世界は、人々の感動をもたらします。  
こうした感動の創造もダイダンの仕事です。

### 電気設備工事

電力設備

防災設備

情報通信設備

特殊電気設備

## 空気 Air

その建物に適した空気を供給し、かつ、その建物に集う人々の快適を追及すること。  
そして、地球にやさしい空調技術で、空気を授けてくれる自然に感謝する……  
それがダイダンの空調技術です。

### 空調設備工事

環境空調設備

医療施設向け空調設備

産業施設向け空調設備

特殊施設向け空調設備

## 水 Water

人々の生活と水は切り離すことのできない関係。  
ダイダンは常に高質な生活用水を供給するとともに、高度な水処理設備によって、環境にも配慮。  
人と水の間をさらに快適なものにします。

### 給排水衛生設備工事

給排水設備

消火設備

ユーティリティ設備

特殊施設向け衛生設備

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

## 「ダイダンレポート2018」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2018

<https://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/">https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/</a> )
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD  
FONT



**ダイダン株式会社**

〒550-8520  
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号  
電話 (06) 6447-8000